

助成事業実施報告書

団体名 Nomad Art ノマドアート

代表者・役職名 氏名 成清 北斗

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「おやこ・de・アート展 2019」 in 立川

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

アーティストの社会的有用性の実証および地域の文化振興を目的に、アートや美術教育に従事する若手専門家達が集まり、2015 年 10 月に設立。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子どもや子育て世代の親にとって、美術館などで美術鑑賞の機会を得ることは難しいため、文化芸術への接点創出を目的に実施。展覧会のテーマには、現代アート、アールプリュット、プロアマなど、既存の枠組みを見つめ直すことによって、多様性の理解を促すことを掲げた。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

立川市内の子育て施設を活用した多様な市民に向けた展覧会の開催
施設内に、現代アート、アールプリュット、市民という様々な作り手による作品を展示。
その他、子どもでも読みやすいキャプションやサインの作成、ワークショップ実施やインスタ撮影コーナーの設置。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」来場者数:4 日間計 1,800 名 3 月 21 日 600 名 22 日 300 名 23 日 400 名 24 日 500 名
(まんがぱーく来場者数と施設来場者数から算出)

「成果」立川市をはじめとする多摩地域の市民が、多様な作品鑑賞を通じ、日常空間における文化、芸術の接点や、多様性理解促進のきっかけを築くことができた。今年度初の試みである市民による作品の展示によって、市民がより主体的に展覧会へ参加することが可能になった。

「効果」昨年度からの継続実施により、地域への周知や地域団体との関係性構築にも進展がみられ、自然な形で市民の文化、芸術、多様性への興味、関心につながり、立川市をはじめとする多摩地域の文化振興に寄与することができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

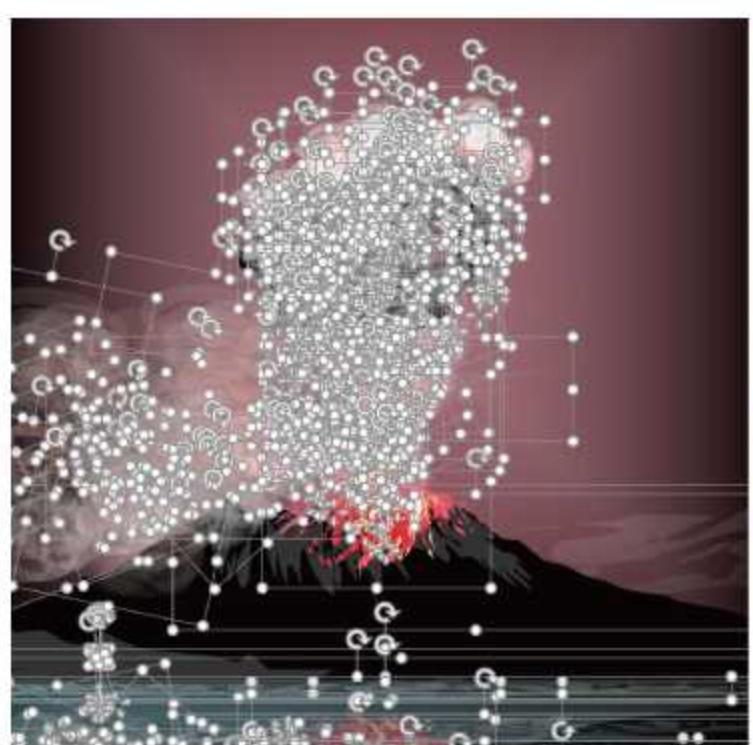
おやこという設定にとらわれず、より多様な市民に向け、立川市内を包括したアートイベントとなるようこの事業を発展させたい。そのために、実施会場のリサーチや、市内の他団体、他イベントとの関係構築を模索したい。

改善点：協力体制（施設使用、運営）を充実させることで、会期延長を可能にさせたい。そのために、この事業の意義を周知させることにも努めたい。展覧会のコンセプトやテーマ、あるいは扱う作品について、地域性や来場者の関心からも、再検討することが必要かもしれない感じた。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料〇あり・特になし



現代アート・アールプリュット・プロアマなんてただの定義。誰もが表現者になれる展覧会、開催。

おやこ・de・アート展

「おやこ・de・アート展 2019」in 立川 企画 成清 北斗 主催 Nomad Art ノマドアート

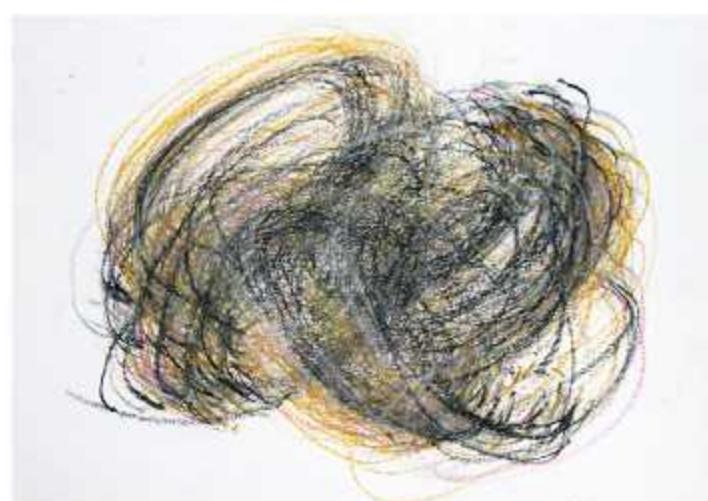
2019.3.21(木祝) - 3.24

11:00-18:00
21(木祝)は 21:00まで



共催：合人社計画研究所グループ（立川市子ども未来センター指定管理者） 助成：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）・立川文化芸術のまちづくり協議会・公益財団法人東京市町村自治調査会・真如苑
協力：社会福祉法人 やまなみ会 やまなみ工房 後援：立川市、立川市教育委員会、武蔵野美術大学、公益財団法人立川市地域文化振興財団、立川商工会議所、立川観光協会

参加アーティスト



「タイトル不明」2014年

榎本 高士 ENOMOTO Takashi

1985年生まれ 滋賀県在住 2004年から『やまなみ工房』に所属 画用紙に様々な色のクレヨンを使い無作為に描いていく。モチーフになるものではなく何度も色を重ねていき一つの作品が完成していく。彼にとて作品制作は、感触を感じ制作過程の行為を楽しむ一つとなり、満足感が作品として生まれていく。



「神の住む島」2018年

OTTI OTTI

2003年東京生まれ。幼少時より恐竜や動物の絵を描く。現在中学3年生。ダイナミックかつ細密な線と鮮やかな色彩が特徴。渋谷、吉祥寺、立川、都内を中心に展示会等で活動中。



「無題」制作年不詳

西本 喜美子 NISHIMOTO Kimiko

1928年ブラジルに生まれ、8歳で帰国。美容院開業後、競輪選手だった2人の弟に憧れ、22歳で女子競輪選手となる。72歳の時、アートディレクターの長男・和民が主宰する写真講座「遊美塾」で初めてカメラに触れる。2011年に熊本県立美術館分館での初個展開催がきっかけとなり、その独特的な個性を持つ作品群は各方面で大きな注目を集めることとなった。



「Monologues」2018年

ノガミ カツキ & 渡井 大己 技術：稻垣 淳

NOGAMI Katsuki & WATAI Taiki Technical : INAGAKI Jun
この作品ではSNSのタイムラインをAIスピーカーにインストールしている。彼らは人間の言葉を代弁する匿名の役者だ。しかし、音声認識のエラーや複数言語を使うAIの誤認により、会話は歪っていく。オフラインとオンラインの変換による歪みやスマートホームを考える、同時的な作品だ。



「山田太郎プロジェクト」2014年-

ノガミ カツキ NOGAMI Katsuki

92年製アーティスト。新潟県長岡市出身。モントリオールのコンコーディア大学 Topological Media Lab のメンバー。ベルリン芸術大学でオラファーエリアソンに師事。武蔵野美術大学卒業。文化庁メディア芸術祭 19th 新人賞 ArsElectronica サウンドアート部門選出、学生 CG コンテスト 20th グランプリ受賞など。



copyright (c) 2018 'Rebel Without a Cause: I Love Art 14' wataru-um museum, all rights reserved. photo by Kazunori Harimoto

BIEN BIEN

1993年東京都生まれ、ドローイングを表現するアーティスト。ストリートカルチャーやアニメーションやフィギュアから影響を受けており、これらの文化の持つ様々な表現様式を受け継いだ抽象絵画制作やインスタレーションを展開。記号的な意味の解体と再構築を試みる。



「御射鹿池と日傘の女(ひと)」2017年

堀内 辰男 HORIUCHI Tatsuo

1999年12月31日退職。会社勤めて身に着いた皮下脂肪を取り除いたら「俺はなんぼか?」と思った。それで未経験の世界に入った。幸いにも多くの方に助けられて今まで来ている。絵の世界に、座敷の縁側から入り込んだので玄関口さえ解らない。そのくせ奥の事など口にする。誰にも「良いな!」と思うものがある。それでいい。



「ワタシ・フラッグ(部分)」2018-2019年

市民のみなさん Citizen Artists

(成清北斗企画「ワタシ・フラッグをつくろう!」参加者作品)
立川市内の児童館等にて実施したツキイチ☆ワークショップ「ワタシ・フラッグをつくろう!」(企画:成清北斗)参加者によるフラッグ作品。ひとつとして同じでないフラッグが一堂に展示された光景から、多様性の中の「ワタシ」の素晴らしさを感じることができるでしょう。

表紙の作品(それぞれ部分) 左上より右: ■西本喜美子「無題」制作年不詳 ■OTTI「密林の奥に」2018年 ■BIEN「THAUNTED CASTLE」2018年 photo by Kazunori Harimoto ■榎本高士「タイトル不明」2014年 ■ノガミカツキ「山田太郎プロジェクト」2014年 ■ノガミカツキ & 渡井大己 技術:稻垣淳「Monologues」2018年 ■堀内辰男「噴火HUNKA(キャプチャー)」2013年 ■市民のみなさん「ワタシ・フラッグ」2018-2019年(成清北斗企画「ワタシ・フラッグをつくろう!」参加者作品)

この展覧会について

この展覧会は、鑑賞者、アーティスト、アートや福祉関係者、その他の様々な人々にとって、アートとは何か、多様性とは何かということについて考えるきっかけとすることを目的としています。展示作品は、現代アートのフィールドにおいて作品発表をする方によるものや、アール・ブリュット※というフィールドにおいて作品発表をする方によるものに加え、ふだんは自覚的にアート活動をしていない市民によるものなど、作風や世代、バックグラウンドなど様々です。

作品を鑑賞する上で、現代アートやアール・ブリュットと定義づけることは、同じ方向性ではないにせよ、既存のアートの文脈や作品に付随するバックグラウンドなどの物語を抜きに語ることを難しくさせます。あるいはそのどちらにも属さないものに対しても、既存のアートの価値基準と照らし合わせ、「~ではないというものの」という視点が介入することでしょう。付随する情報は作品をより豊かにする要素ともなりえますが、鑑賞者から、作品を通じて直接何かを感じ取るということや新たな発見の機会を奪ってしまうことにもつながりかねません。また、アートになじみの薄い人々にとって、アートを難解にさせてしまう理由のひとつとなってしまうかもしれません。そのため、経験や立場を超えて作品を鑑賞することはできないかと考えました。

そこで、今回は、それら多様なアーティストによる作品を、既存の枠組みからではなく、それぞれの作品の特徴や表現方法といった共通点、類似点などが見出せる関係性をもとに展覧会を構成し、新たな視座から、作品そのものを観るための空間づくりを行います。そして、付随する情報からではなく、個々の作品から、魅力やそこに込められた意味、メッセージを鑑賞者なりに感じ取ることで、作り手への興味、あるいはそれに関連する社会の様々なできごとに思いを巡らせることへつながっていくという方向性を導き出したいと考えています。

鑑賞者のそうした経験は、アートに限らず、自分自身や自分とは異なる他者を、先入観にとらわれることなく理解するための手助けにもつながるはずです。アートの専門家ではない市民、子どもたちにとっても有意義なことだといえるでしょう。アートにも社会支援にも限定されることなく、アートを介し、参加するすべての人々とともに、アートとは何か、多様性とは何かということについて考えることによって、新たな価値観を築いていくことができればと願っています。

※「生の芸術」美術の正規教育を受けていない者や障がい者によるアート

■おやこ・de・アート展これまでの経緯

当団体の理念である「アーティストおよびアートは、いかに社会との関係性を築き、その魅力を発信することができるのか」に基づき、既存の子育て施設を美術館化することで市民、とりわけ子どもと子育て中の親といったアートとの接点を持つことが容易でない層に向けアートへのアクセスを促し、地域文化の発展に寄与することを目的に、2017年、2018年と展覧会を開催してきました。2017年は地域美術大学(学生)と市民との関係づくりを、2018年は多様な地域アーティストと市民との関係づくりをコンセプトに掲げました。

＜企画者＞

成清 北斗 NARIKIYO Hokuto

Nomad Art ノマドアート代表

立川文化芸術のまちづくり協議会企画運営委員



1986年大阪府生まれ。ベルリン芸術大学美術学部留学後、武蔵野美術大学大学院修士課程美術専攻彫刻コース修了。近年は、アートプロジェクトの企画など、アートを介した場やできごとの創出を新たな表現と捉え活動。

関連イベント

■オープニングパーティー 3月21日(木祝) 18:00-21:00

開催中に作品鑑賞もできます。どなたでもご参加いただけます。

■「山田太郎プロジェクト」パフォーマンス 3月21日(木祝) 14:00-16:30

誰かの顔を身につけた「山田太郎」たちがパフォーマンスを行います。(途中休憩をはさみます)

■西本喜美子等身大パネルとインスタ撮影 3月21日(木祝)-24日(日) 11:00-18:00
「日本一有名なインスタおばあちゃん」こと西本喜美子の等身大パネルと一緒に写真撮影ができます。

■OTTI 公開制作 3月21日(木祝)、23日(土)、24日(日) 各11:00-18:00

現役中学生アーティスト OTTI の作品制作を見学できます。(途中休憩などあり; 詳細は当日会場にて)

■ワークショップ 3月21日(木祝)-24日(日) 11:00-18:00

オリジナル・カンバッジづくり/オリジナル・トートバッグづくり/オリジナル・レジンアクセサリーづくりなど(有料)

その他、アーティストグッズの販売など

イベントは一部変更となる場合があります。

開催情報

＜お問い合わせ＞

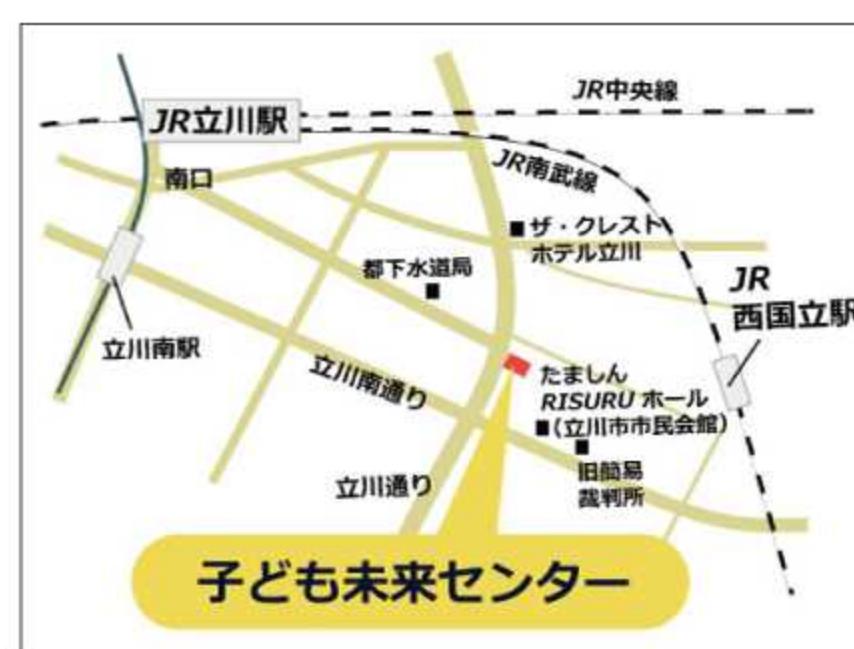
立川市子ども未来センター2階協働事務室

Nomad Art ノマドアート事務局

〒190-0022 東京都立川市錦町3丁目2番26号

E-mail : info@nomadart.jp HP : <http://www.nomadart.jp>

▼ノマドアートで検索



＜アクセス＞

立川市子ども未来センター

JR立川駅 徒歩13分

JR西国立駅 徒歩7分

多摩モノレール立川南駅 徒歩12分

有料駐車場あり



「おやこ・de・アート展 2019」 in 立川 立川市子ども未来センター 2019.3.21(木祝)~3.24(日) 企画:成清北斗 主催:Nomad Art ノマドアート